

平成29年改訂学習指導要領の趣旨を踏まえた 学習評価の進め方

小学校 家庭科

この資料は、平成29年改訂学習指導要領（以下、学習指導要領）に基づく学習評価を円滑に進めていくための手引きとして、国立教育政策研究所の「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（以下、「参考資料」）の考え方を基に、佐賀県教育センターが作成したものです。各学校における、指導と評価の一体化に向けた取組の推進にぜひお役立てください。

目次

1	学習評価の基本的な考え方	1
2	学習評価の観点	1
3	小学校家庭科の教科目標	2
4	小学校家庭科における評価の観点及びその趣旨	2
5	小学校家庭科における「内容のまとめりごとの評価規準」作成の手順	3
6	小学校家庭科における学習評価の進め方	5
7	小学校家庭科における観点ごとの評価のポイント	6
8	小学校家庭科における学習評価の事例	7
9	学習評価の進め方 Q & A	18

1 学習評価の基本的な考え方

○学習評価とは

児童生徒の資質・能力を育成するために、目標に照らして児童生徒一人一人の学習状況を的確に把握すること

○学習評価を行う上で重要なポイント

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

学習評価を行うに当たっては、児童生徒一人一人の資質・能力を育成できるようにすることが大前提です。そのためには、児童生徒の進歩の状況や教科等の目標の実現状況を適切に把握することが必要です。把握した内容は、児童生徒にフィードバックして児童生徒の学習改善につなげられるようにし、教師は自身の指導改善につなげます。このことなくして児童生徒一人一人の資質・能力の育成は望めません。つまり、学習評価を行う上で、「普段の授業の不断の見直し」が不可欠だと言えます。

○学習評価の機能

指導に生かす評価・・・児童生徒一人一人の学習状況を把握し、児童生徒の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のこと

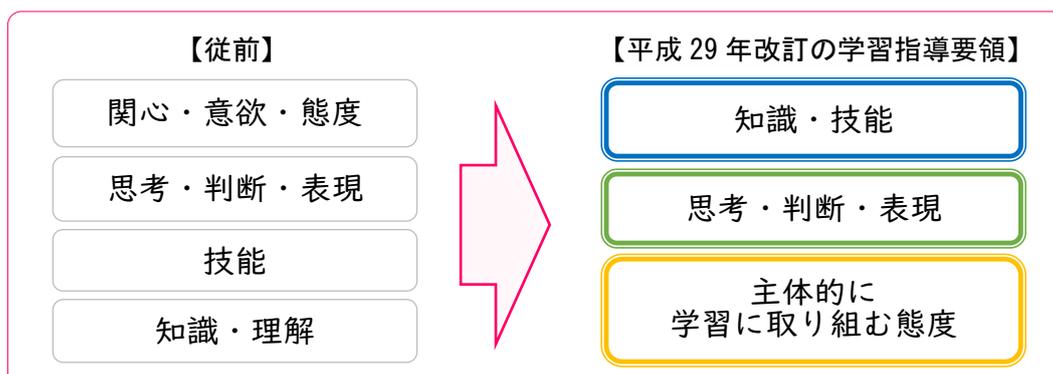
指導に生かす評価の場面は、随時存在します。児童生徒の学習状況を把握し、「おおむね満足できる」状況(B)以上になることを目指して、必要な指導を適宜行います。

記録に残す評価・・・観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のこと

記録に残す評価の場面は、毎時間設定する必要はありません。児童生徒全員の評価を記録に残す場面を精選することが重要です。単元や題材のまとまりの中で、評価規準に照らして、児童生徒の観点別学習状況を把握し、記録します。

2 学習評価の観点

学習指導要領では、各教科等の目標や内容が、育成を目指す資質・能力の三つの柱を基に整理されました。目標や内容の整理を踏まえ、小・中・高等学校の各教科を通じて、評価の観点も4観点から3観点到整理されました(下図参照)。



3 小学校家庭科の教科目標

学習指導要領において、全ての教科の目標は、(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理されました。小学校家庭科の目標は次のとおりです。

<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	
<p>(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p>	<p>知識及び技能</p>
<p>(2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p>	<p>思考力、判断力、 表現力等</p>
<p>(3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。</p>	<p>学びに向かう力、 人間性等 ※</p>

◆今回の改訂では、これまでの学年の目標を整理し、教科の目標としてまとめて示しています。

※(3)の「学びに向かう力、人間性等」には、①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と、②観点別学習状況の評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれない部分があるとされています。そのため、評価の観点は、「主体的に学習に取り組む態度」と示されています。

4 小学校家庭科における評価の観点及びその趣旨

小学校家庭科における評価の観点及びその趣旨は、次のとおりです。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

5 小学校家庭科における「内容のまとめりごとの評価規準」作成の手順

(1) 小学校家庭科の「内容のまとめり」

小学校家庭科における「内容のまとめり」は、以下のようになっています。

- 「A 家族・家庭生活」(1) 自分の成長と家族・家庭生活
- 「A 家族・家庭生活」(2) 家庭生活と仕事
- 「A 家族・家庭生活」(3) 家族や地域の人々との関わり
- 「A 家族・家庭生活」(4) 家族・家庭生活についての課題と実践
- 「B 衣食住の生活」(1) 食事の役割
- 「B 衣食住の生活」(2) 調理の基礎
- 「B 衣食住の生活」(3) 栄養を考えた食事
- 「B 衣食住の生活」(4) 衣服の着用と手入れ
- 「B 衣食住の生活」(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
- 「B 衣食住の生活」(6) 快適な住まい方
- 「C 消費生活・環境」(1) 物や金銭の使い方と買物
- 「C 消費生活・環境」(2) 環境に配慮した生活



題材の設定に当たっては、各項目及び各項目に示す指導事項との関連を見極め、相互に関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるように配慮するといいですね。「8 小学校家庭科における学習評価の事例」では、C(1)とC(2)を関連させた題材を紹介しています。

(2) 「内容のまとめりごとの評価規準」作成の手順

① 「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認します。

各内容の各項目は、アとイの二つの指導事項で構成し、原則としてアは「知識及び技能」に関する内容、イは「思考力、判断力、表現力等」に関する内容となっています。

ただし、「A家族・家庭生活」の(1)「自分の成長と家族・家庭生活」及び(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」については、それぞれが指導事項アのみで構成されています。評価については、(1)「自分の成長と家族・家庭生活」では、「知識・技能」及び「主体的に学習に取り組む態度」の観点で評価を行います。(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」では、指導事項はアとしていますが、評価は、「知識・技能」の観点では行いません。家庭や地域などで実践を行い、課題を解決する力を養うことから、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の観点で評価を行います。

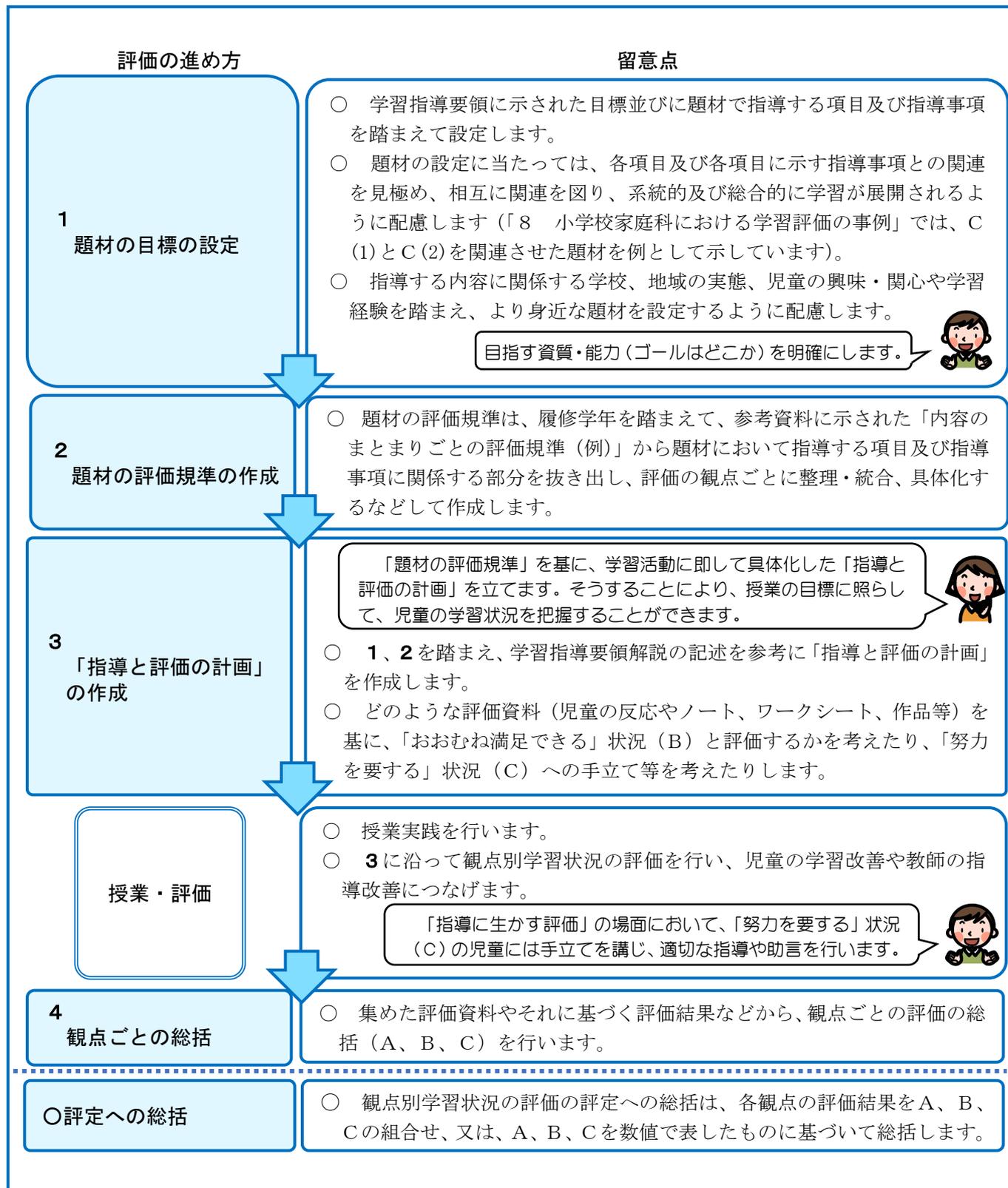
② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。

「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の【観点ごとのポイント】

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」については、指導事項について理解しているとともに、理解に基づく技能を身に付けているかを評価します。基本的には、指導事項アが該当します。 ・知識の評価規準の文末は、「～を(～について)理解している」、技能の評価規準の文末は、「～を(～について)理解しているとともに、適切にできる」として、評価規準を作成します。 ・「A家族・家庭生活」の(1)については、その文末を「～に気付いている」として、評価規準を作成します。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考・判断・表現」については、小学校家庭科の目標(2)に示されている学習過程(①日常生活の中から問題を見いだして課題を設定する、②様々な解決方法を考える、③実践を評価・改善する、④考えたことを表現する)に沿って「課題を解決する力」が身に付いているかを評価します。基本的には、指導事項イが該当します。 ・評価規準の文末は、「～について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている」として、評価規準を作成します。 ・評価場面を各題材の構成に応じて適切に位置付ける必要があります。学習過程①～④に沿った問題解決の4つの場面と評価規準の一例を次に示します。 <p>例 ①題材の始めに自分の生活を振り返り問題を発見し、課題を設定させ、その実現状況の評価する場面→「〇〇について問題を見いだして課題を設定している。」</p> <p>②知識・技能を活用して課題(パフォーマンス課題等)を解決させて、考える力を評価する場面→「〇〇について、考え、工夫している。」</p> <p>③課題解決のための実践を振り返り評価・改善している状況の評価する場面→「課題解決のための〇〇について、実践を評価したり改善したりしている。」</p> <p>④一連の課題を振り返って表現する力を評価する場面→「〇〇についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。」</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的に学習に取り組む態度」については、①粘り強さ(知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行うとする側面)、②自らの学習の調整(①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面)に加え、③実践しようとする態度を評価します。基本的には、指導事項ア及びイと教科の目標、評価の観点及びその趣旨を踏まえて行います。 ・評価規準を作成する際、対象とする指導内容は、指導項目の名称を用いて示すこととします。評価規準の文末は、①「<u>～について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり</u>」、②<u>振り返って改善したりして</u>、③<u>生活を工夫し、実践しようとしている</u>」として、評価規準を作成します。 <div data-bbox="379 1848 1428 2038" style="border: 1px solid black; padding: 10px;">  <p>②の「自らの学習の調整」は、家庭科において「評価・改善しようとしているか」という視点から、その姿を積極的に評価していきます。</p> </div>

6 小学校家庭科における学習評価の進め方

題材における観点別学習状況の評価の進め方は、基本的に次のような流れになります。観点別学習状況の評価を行う際は、下の進め方の前に、まず、学習指導要領の目標や内容、「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方等を踏まえ、年間の指導と評価の計画を確認することが重要です。



7 小学校家庭科における観点ごとの評価のポイント

・は留意点、◆は児童の姿を示しています。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">知識・技能</p>	<p>【評価対象】</p> <p>○従来の個別の知識や技能の習得のみを評価するのではなく、概念として理解したり技能を取得したりしているかについて評価します。</p> <p>【評価場面】</p> <p>○実際に知識や技能を用いる場面を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の定着を図るために、できる限り繰り返し取り組めるような場面の工夫を行います。 <p>【評価方法】</p> <p>○パフォーマンス評価（活用できる概念等を評価できる課題の設定）やワークシート、ペーパーテスト、実技テスト、児童の文章による説明等を基に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストでは、事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスを配慮して、作成します。 ・調理の技能については、例えば、1回目は、ペア調理で「指導に生かす評価」を行い、2回目に一人調理で「記録に残す評価」を行う方法もあります。 ・裁縫の技能については、例えば、不織布を用いた手縫いやミシン縫いで「指導に生かす評価」を行い、「生活を豊かにするための布を用いた製作」で「記録に残す評価」を行う方法もあります。また、縫い方見本を用いて、自己評価や相互評価することも考えられます。 ・児童の活動様子や製作途中の作品や出来上がった料理・作品の写真を撮り、後で評価に生かすことなども考えられます。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">思考・判断・表現</p>	<p>【評価対象】</p> <p>○課題を解決する力を身に付けているかについて以下のような姿を評価します。</p> <p>例) ◆日常生活の中から問題を見いだして課題を設定しているか（学習過程①）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆課題解決の見通しをもって計画を立てる際、生活課題について自分の生活経験と関連付け、様々な解決方法を考え、工夫しているか（学習過程②）。 ◆課題解決に向けて実践した結果を評価したり、改善したりしているか（学習過程③）。 ◆課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現しているか（学習過程④）。 <p>○作品の製作や調理では、完成した物だけを見て評価するのではなく、作品製作や調理活動の過程における思考のプロセスも評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考の跡を具体的に見取ることができるように、考えたことや改善案などを記録する欄を設け、「作品製作カード」や「実習計画表」などに工夫を凝らします。 <p>【評価場面】</p> <p>○問題解決の4つの学習過程に沿って、評価する場面を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、4つの学習過程の②「様々な解決方法を考える」段階、すなわち「考え工夫する」段階のみを評価していましたが、これからは、「課題を解決する力」を育む観点から、問題解決の4つの学習過程を適切に捉えて評価します。 ・問題解決の4つの学習過程に沿ってそれぞれ評価し、それらをまとめて題材の評価とします。 <p>【評価方法】</p> <p>○ペーパーテスト、レポート、学習カード、実践記録表、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動に取り組みせるパフォーマンス課題、ポートフォリオ等を基に評価します。</p> <p>（「8 小学校家庭科における学習評価の事例」では、「買い物記録」のワークシートと児童の作品「はがき新聞」で評価しています。）</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>【評価対象】</p> <p>○主体的に取り組む態度は、以下のような姿を評価します。</p> <p>例) ◆知識及び技能を身に付けたり、課題解決に向けて主体的に粘り強く取り組もうとしているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆課題解決に向けた一連の活動を振り返って、改善しようとしているか。 ◆学習目標をもち、学習の進め方について振り返るなど、自らの学習を調整しようとしているか。 ◆よりよく学ぼうとする意欲をもって学習に取り組んでいるか。 ◆生活を工夫し、実践しようとしているか。 ◆よりよい生活にするために新たな課題を見付け、家庭での実践に取り組もうとしているか。

- ・ここでの評価は、児童の学習の調整が「適切に行われているか」を必ずしも判断するものではなく、学習の調整が知識及び技能を習得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに結び付いていない場合には、教師が学習の進め方を適切に指導します。
- ・各題材の学習過程において、3つの側面（①粘り強さ②自己学習調整③実践しようとする態度）から評価規準を設定しますが、これらの評価規準は、各題材の構成に応じて適切に位置付けることに留意します。

【評価場面】

- 学習の見通しをもって取り組み、自らの理解の状況を振り返ることができるような場面や自らの考えを記述したり話し合ったりする場面を設定します。

【評価方法】

- ワークシートやレポート、学習カード、実践記録表の記述、ポートフォリオの活用、授業中の発言、教師による行動観察、児童の自己評価や相互評価の状況等を基に評価します。



「学びに向かう力、人間性等」に含まれる「家庭生活を大切にしている心情」等は、目標に準拠した評価になじまないことから、その児童のよさや可能性、進歩の状況などを把握する個人内評価として見取り、教師の言葉かけやワークシートの記述などで児童に適切に伝えることが大切です。



8 小学校家庭科における学習評価の事例

キーワード…「思考・判断・表現」の評価（学習過程の③評価・改善する ④表現する）

本事例では、家庭科の目標(2)に示されている学習過程（①日常生活の中から問題を見いだして課題を設定する、②様々な解決方法を考える、③実践を評価・改善する、④考えたことを表現する）の中で、③実践を評価・改善する、④考えたことを表現する、に焦点化した評価を示しています。

<p>題材名 「上手に使って、上手に暮らそう」</p>	<p>内容のまとめり 第5学年「C消費生活・環境」 (1)物や金銭の使い方と買物 (2)環境に配慮した生活</p>
--	--

本題材は、「C消費生活・環境」の(1)「物や金銭の使い方と買物」と(2)「環境に配慮した生活」との関連を図っています。物や金銭の使い方と買物について、課題をもって、物や金銭の大切さについて理解し、買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の計画的な使い方、身近な物の選び方、買い方、情報の収集・整理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な物の選び方、買い方を工夫することができるようにすることをねらいとしています。

なお、本題材では、買物体験学習を行うので、学校での学習を家庭での実践として展開できるようにするために、児童の家庭の状況に十分配慮し、家庭との連携を図るようにします。

1 題材の目標

- (1) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的で環境に配慮した使い方、身近な物の選び方、買い方について理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理の技能を身に付ける。
- (2) 身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、環境との関わりも踏まえ、解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 家族の一員として生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物などについて、環境に配慮して考え、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し実践しようとする。

2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 ・身近な物の選び方、買い方について理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・環境に配慮した物の使い方などについて理解している。 	<p>身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。</p>

3 指導と評価の計画（7時間）

[1]物を買うってどういうこと？上手に使おう！

4時間

[2]買物名人になって、上手に暮らそう！

3時間

小題材	時間	ねらい(○)、学習活動(・)	評価規準(丸数字)、評価方法(*)		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物を買うってどういうこと？ 上手に使おう！	1 ・ 2	<p>○買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物の仕組みや消費者の役割を考えられるようなロールプレイングを行う。 ・買物体験談を発表し、物や金銭の計画的な使い方について話し合う。 	<p>①買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。</p> <p>*ワークシート *行動観察 *ペーパーテスト</p>		
	3 ・ 4	<p>○身近な物の選び方、買い方、環境に配慮した物の使い方などについて理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な物として学習用紙ファイルを例に挙げ、どの紙ファイルを買うかを多面的に検討し、上手な買い方を考える。 ・身近な物の表示やマークの情報を読み解き、選び方、買い方について考える。前時の紙ファイル選びに関して、環境に配慮する視点を追加し、再度選び方や買い方について考えを深める。 	<p>②身近な物の選び方や買い方、環境に配慮した物の使い方などについて理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p> <p>*グループでの意見交流 *ワークシート *ペーパーテスト</p>		

買い物名人になって、上手に暮らそう！	5	<p>○身に付けた知識・技能を活用して、身近な物の選び方、買い方、使い方などに問題を見いだして課題を設定し、解決するための計画を立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な物の選び方、買い方、使い方を振り返り、問題を見付け、自主学习ノートの購入における課題を設定する。 ・家族や友達へインタビューしたりパソコン等を利用したりして情報を収集・整理しながら課題解決の計画を立てる。 	<p>①身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定している。</p> <p>*ワークシート</p> <p>②自主学习ノートの購入について様々な情報を基に考え、物や金銭の使い方を工夫している。</p> <p>*ワークシート</p>	<p>①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。</p> <p>*ポートフォリオ</p> <p>*ワークシート</p> <p>*行動観察</p>
	家庭での実践			
	6	<p>○自主学习ノートの購入実践を振り返り、評価・改善することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入した商品やレシートを持ち寄り、選ぶ時に考えたことについて意見交流を行う。 	<p>③課題解決のための自主学习ノートの購入について実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>*ワークシート (⇒pp. 11-13)</p> <p>*行動観察</p> <p>*相互評価</p>	<p>②物や金銭の使い方と買物について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>*ワークシート</p> <p>*行動観察</p>
7	<p>○自主学习ノートの購入から、自分で考えたことを分かりやすく表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を基に自分の行動を振り返り、今後の消費生活への思いや考えをまとめる。 	<p>④課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。</p> <p>*はがき新聞 (⇒pp. 16-17)</p>	<p>③生活をよりよくしようとして物や金銭の使い方と買物について、工夫し、実践しようとしている。</p> <p>*ポートフォリオ</p> <p>*はがき新聞</p> <p>*ワークシート</p> <p>*行動観察</p>	

※太枠内を pp. 10-18 で説明しています。

4 観点別学習状況の評価の進め方

A 学習の展開（6／7時間）

(1) 小題材名 買物名人になって、上手に暮らそう！

(2) 本時のねらい

自主学习ノートの購入実践を振り返り、評価・改善することができる。



(3) 学習活動と評価

時間	学習活動	指導上の留意点	評価場面・評価方法
(分) 15	1 自主学习ノートの購入実践を振り返る。	・ワークシートにレシートを貼り、考えたことを記入するよう伝える。	
	2 本時の学習のめあてを確認する。	・ノートを使っての気づきを自由に書くよう促す。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 上手な買物ができたか、振り返ろう </div>			
25	3 購入した商品を見せながら、選ぶ時に考えたことについて意見交流する。	・計画通りにいかなかった理由なども考えるように指示する。	「記録に残す評価」 自主学习ノートの購入実践の意見交流場面 ■評価方法 【ワークシート】 (⇒ pp. 11-13) 【行動観察】 【相互評価】 思考・判断・表現③ 主体的に学習に取り組む態度②
	・グループの友達にコメントを言い、買物名人を決める。 ・買物名人は、ワークシートにシールを貼ってもらう。	・発表を聞き、上手な買物ができたかどうか相互評価を行わせることで、児童が、考えを広げたり深めたりできるようにする。	
5	4 買物について考えたことや改善したいこと、この学習で学んだことを考える。	・児童が、改善点を具体的につかむことができるように、自分の生活と関連付けるよう助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「努力を要する」児童への手立て 「買い物名人だ～れだ？」相互評価表やグループでの意見交流を参考にするようアドバイスする。 </div>	
	5 課題解決に向けた一連の活動を振り返る。	・うまく解決できなかった児童に、解決に向けてアドバイスをし、実践の意欲につなげるようにする。	

(4) 「思考・判断・表現」の評価規準③の評価について

6時間目の評価規準③(評価・改善する)については、自主学习ノートの購入実践後に児童が記入したワークシートI、IIの記述内容から評価を行います(資料2～資料5)。評価は、資料1の判定基準を基に行いました。

	評価・改善
「十分満足できる」状況 (A)	ノート購入において、品質(機能、安全)、予算、大きさ、分量や環境の視点の中から3つ以上取り上げて振り返り、今後の家庭実践に向けて視点が増えたり、ノート購入以外の場面を想定したりして改善案を記述している。
「おおむね満足できる」状況 (B)	ノート購入において、品質(機能、安全)、予算、大きさ、分量や環境の視点の中から2つ取り上げて振り返り、今後の家庭実践に向けて改善案を記述している。
「努力を要する」状況 (C)	「おおむね満足できる」状況(B)に達していない。

資料1 6時間目の判定基準

<思考・判断・表現>③ ※「おおむね満足できる」状況(B)と判断した児童の具体的な例 S児

この部分で「思考・判断・表現③(評価)」を見取ります。

「環境」の視点で振り返り(評価)をしています。

この部分で「思考・判断・表現③(改善)」を見取ります。

今後の家庭実践に向けて、もっと商品を比較検討して買物を行うことやマークを意識して見ることを挙げて振り返り(改善)をしています。

6 / 7 時間 I 学習日

めあて
上手な買い物ができたか、振り返ろう!

年 組 名前

★買い物についての課題

★自主学习ノートの買い物記録

メーカー	サイズ枚数	値段	選んだ理由 ノートの持ちよう
			<ul style="list-style-type: none"> ノートのマスの色が薄いから、字を大きく書いて書きやすい。 環境マークがついている。

どこで買ったか。

○買う時に考えたこと・失敗したこと

○計画通りにいかなかった理由

○後で気付いたこと・思ったこと

あまりマークがついているノートを見なかったけど、これは環境マークもついていたのでよかった。

○自主学习ノートとして適切か、使ってみた感想

つつつしていで消しゴムで消しやすいです。

★「買い物名人シート」を活用したか。

活用しなかつた 活用した

★今回の買物で、課題は、解決できたか。

ため、まあまあ、ばっちり!

★あなたの買物満足度 8 / 10点

○どうすれば、課題解決が「ばっちり」になったり買物満足度が10点になったりするだろうか。

・もっとノートを比較して買いたい。

・いっぱいマークを見る。

あなたが買い物名人ならここにシールをはってもらおう!

この部分で「思考・判断・表現③(評価)」を見取ります。

「品質(機能)」や「環境」の視点を取り上げて振り返り(評価)をしています。

ここに

レシートの一部

0576 ノート	¥148
小計	¥148
(b外10%対象額 ¥148)	
b外10%消費税等	¥14
合計	¥162
(商品代 ¥148)	
お預り	¥170
(現金支払 ¥162)	
お釣り	¥8
お買上点数	1点

資料2 「買い物記録」ワークシートI

6 / 7 時間 II 「買い物名人だ～れだ？」 年 組
名 前

友達の自主学習ノートをご入した話を聞いて、コメントしよう！
そして、誰が上手な買い物をしたか選ぼう！
選ぶ基準は、表の項目にそって判定しよう。
その際、①友達の発表をよく聞くこと
②名人を決める時は、理由をそえて判定すること が大事。
買い物名人を判定できるかな？

判定は、1から4の4段階（1がんばれ→4すばらしい） を数字で記入する。	さん	さん	さん
①目的：学習に適したノートか。			
②機能：使いやすそうか。			
③値段：予算内か。高くないか。余分な買い物はないか。			
④大きさや量：大きさや分量はちょうどよいか。			
⑤環境：環境について考えていたか。（マークや表示、ノ ート・インク原料、過包そう、資源の有効活用など）			
総合判定(◎ ○ △)			

買い物名人は、 さんです。
理由は、 からです。

私が、友達の意見を聞いて買い物について考えたことや改善したいことは、
さわって指が切れないか、安全についても考えて買う。
買い物学習で学んだことは、

7 / 7 時間
★「上手に使って、上手に暮ら
ってどういうこと？」

私の決意！

この部分を「はがき新聞」にのせよう！

この部分で「思考・判断・表現③（改善）」を見取ります。

今後の家庭実践に向けて「品質（安全）」の視点で振り返り（改善）をしています。

資料3 「買物記録」ワークシートII

S児は、今まで自分で考えて買物をした経験がなく、母親から頼まれたものを購入する程度でした。そのため、今回は、「自分で考えて勉強しやすいノートを選ぼう」という課題を設定し、課題の解決に向けて母親へインタビューをしたり、パソコンを利用したりして「学習に適したノート」の情報を収集しました。その結果、「ノートのマスの色が薄いから、字を大きく書いて書きやすい」や「環境マークがついている」という理由を挙げ、しっかり考えてノートを購入することができました。「品質（機能）」や「環境」の視点を取り上げて振り返り、適切に自己評価をすることができています（前頁資料2）。改善については、友人との意見交流から今後の家庭実践に向けて、「さわって指が切れないか、安全についても考えて買う」と「品質（安全）」の視点で改善案を記述しています（資料3）。これらのことから、S児は「おおむね満足できる」状況（B）と判断しました。

次に、「十分満足できる」状況（A）と判断した児童の具体的な例を示します。

<思考・判断・表現>③ ※「十分満足できる」状況（A）と判断した児童の具体的な例 M児

6 / 7 時間 I 学習日 年 組 名前

めあて
上手な買い物ができるか、振り返ろう！

★買い物についての課題
自主学習ノートの買い物記録

メーカー	サイズ 枚数	値段	選んだ理由 ノートの持ちよう
			<ul style="list-style-type: none"> ノートの表紙が緑だと他のノートと色分けができ、「自学ノート」って分かりやすいからです。(私は、科目によって色分けしています。) マスがあった方が、私は書きやすいので、これにしました。

ここで買ったか。

この部分で「思考・判断・表現③（評価）」を見取ります。

この部分で「思考・判断・表現③（評価）」を見取ります。

自分の学習スタイルと関連させ、「目的」「品質（機能）」を取り上げて、振り返り（評価）をしています。

「分量」や「環境」の視点、「品質（安全）」を取り上げて、振り返り（評価）をしています。

この部分で「思考・判断・表現③（改善）」を見取ります。

今後の家庭実践に向けて「環境」の視点で振り返り（改善）をしています。

○買う時に考えたこと・失敗したこと
○計画通りにいかなかった理由
○後で気付いたこと・思ったこと
・枚数は、50枚もいるかなあとずっと考えていました。私は、何ページも書くからその方がいいのか、でも余ったらもったいないなと思っていました。もし余ったら、メモ帳にしようと思います。
・安全性や環境のマークは、よく見てなかったと思います。

○自主学習ノートとして適切か、使ってみた感想
・表紙が緑なので、すぐに自学ノートって分かって使い安いです。
・マスがあってきれいにまとめられて見やすいです。

★「買い物名人シート」を活用したか。
活用しなかった 活用した

★今回の買物で、課題は、解決できたか。
だめ ・ まあまあ ・ ばっちり

★あなたの買物満足度 9 / 10点

○どうすれば、課題解決が「ばっちり」になったり買物満足度が10点になったりするだろうか。
・環境のマークをよく見て買うようにする。

あなたが買い物名人ならここにシールをはってもらおう！

資料4 「買い物記録」ワークシート I

6 / 7 時間 II 「買い物名人だ〜れだ？」 年 組 名前

友達自主学習ノートをこう入した話を聞いて、コメントしよう！
そして、誰が上手な買物をしたか選ぼう！
選ぶ基準は、表の項目にそって判定しよう。
その際、①友達の発表をよく聞くこと
②名人を決める時は、理由をそえて判定することが大事。
買い物名人を判定できるかな？

判定は、1から4の4段階（1ががんばれ→4が素晴らしい）を数字で記入する。	さん	さん	さん
①目的：学習に適したノートか。			
②機能：使いやすそうか。			
③値段：予算内か、高くないか、余分な買物はないか。			
④大きさや量：大きさや分量はちょうどよいか。			
⑤環境：環境について考えていたか。（マークシート・インク原料、適包そう、資源の有効利用）			
総合判定(◎ ○ △)			

買い物名人は、 さんです。
理由は、 からです。

この部分で「思考・判断・表現③（改善）」を見取ります。

今後の家庭実践に向けて「大きさ」「予算」の視点を増やし、ノート購入以外の場面を想定して振り返り（改善）をしています。

私が、友達のことを聞いて買物について考えたことや改善したいことは、
・大きさや分量、値段、環境マークも見て、しっかり考えて、今後いろいろな買物をするときに、この学習を思い出して失敗をしないようにします。

資料5 「買い物記録」ワークシート II の一部

M児は、買いたい物があれば何も考えずに買ってしまいうことに問題を見だし、「よく考えて、自分に合った勉強しやすいノートを買おう」という課題を設定し、姉へインタビューをしたりパソコンを利用したりして情報収集を行い、**前頁資料4**、**資料5**のように振り返りました。

また、ノートの購入の際に、自分の学習スタイルと関連させたり、「物や金銭の計画的な使い方」の学習を活用したりして「目的」「機能」「分量」「安全」「環境」の5つの視点で、自分の課題の解決に向けて振り返ることができています（**前頁資料4**）。

改善については、友人との意見交流から、今後の家庭実践に向けて、「大きさ」「予算」の視点を増やし、ノート購入以外の場面を想定して記述することができています（**前頁資料5**）。以上のことからM児は、「十分満足できる」状況（A）と判断しました。

「努力を要する」状況（C）と判断される児童に対しては、「買い物名人だ～れだ？」の相互評価表やグループでの意見交流を参考に評価・改善を考えさせるようにします。

B 学習の展開（7／7時間）

(1) 小題材名 買物名人になって、上手に暮らそう！

(2) 本時のねらい

自主学习ノートの購入から、考えたことを分かりやすく表現することができる。

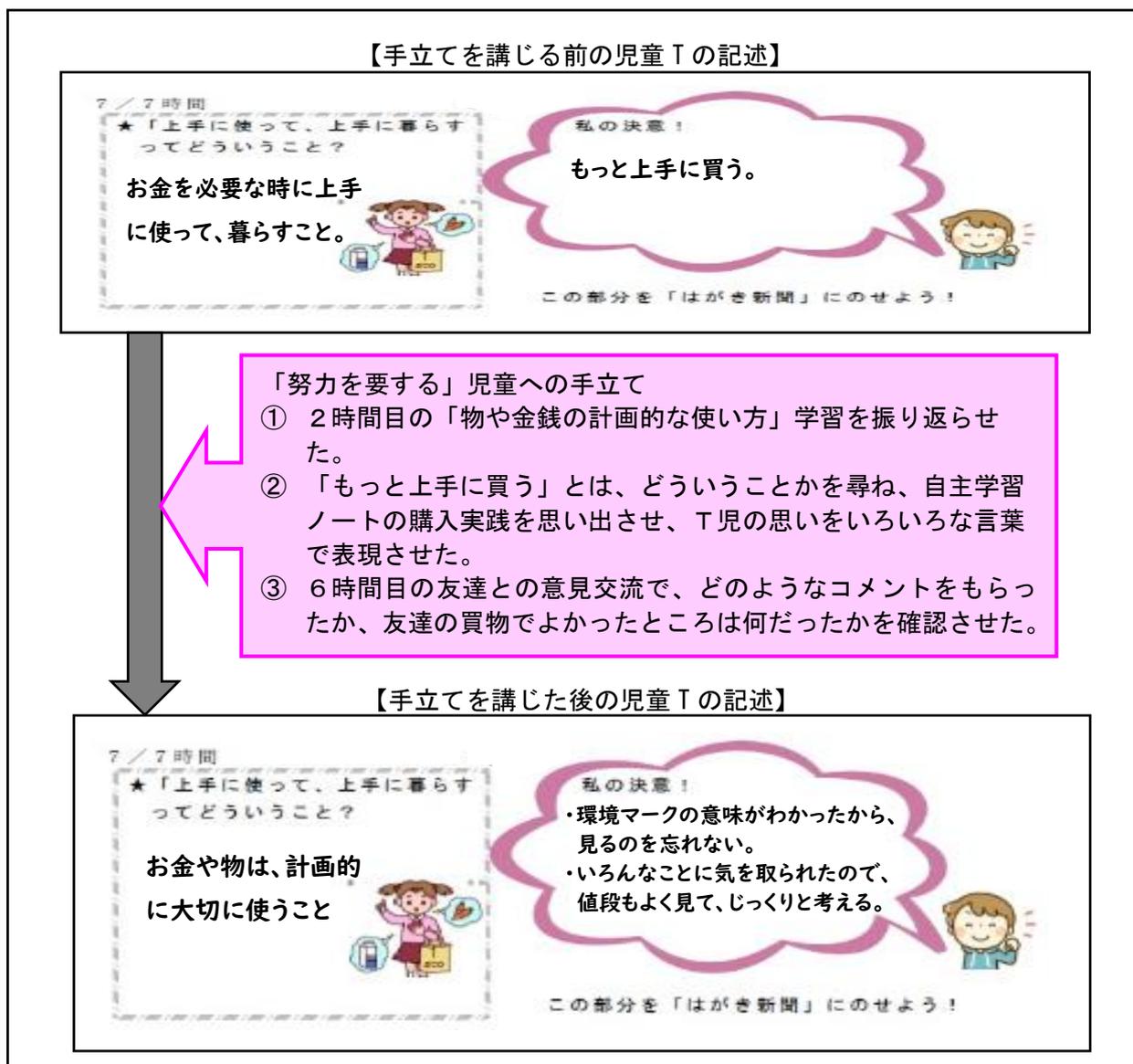
(3) 学習活動と評価

時間	学習活動	指導上の留意点	評価場面・評価方法
(分) 15	1 本時の学習のめあてを確認する		
	身近な物の使い方や買い方について、考えたことを「はがき新聞」で伝えよう		
25	2 前時の友達の発表や相互評価を基に「上手に使うって、上手に暮らす」とはどういうことかを考え、ワークシートに「私の決意」を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> 生活の営みに係る見方・考え方「持続可能な社会の構築」の視点を与え、児童が思考を広げたり深めたりできるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「努力を要する」児童への手立て 自主学习ノートの購入実践や振り返り、友達との意見交流を思い出そう助言する。</div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; background-color: #f0e6ff;">「指導に生かす評価」 「私の決意」記入 場面 (⇒p. 15 資料6、p. 18 資料12)</div>
5	3 「はがき新聞」を制作する。	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けた一連の活動について考えたことを分かりやすく表現するよう伝える。 届ける相手を家族とすることで、家族の一員としての自覚をもちやすくする。 はがき新聞の制作を通して実践への意欲につなげる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「記録に残す評価」 「はがき新聞」制作場面</div> <p>■評価方法 「はがき新聞」 (⇒p. 16 資料8、p. 17 資料9) 思考・判断・表現④ 主体的に学習に取り組む態度③</p>
5	4 単元を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 上手な物の使い方を工夫して自分らしい生活をしていくことを推奨する。 	

(4) 「思考・判断・表現」の評価規準④の評価について

ア 指導に生かす評価

7時間目に記入する「私の決意」は、「はがき新聞」の素案となるものです。そのため、全ての児童が、身近な物の使い方や買い方などの課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを書くことができるよう手立てを講じる必要があります。「努力を要する」状況（C）と判断した児童Tに具体的にどのような手立てを講じ、その結果「私の決意」の記述がどのように変容したのかを以下に示します（資料6）。



資料6 T児の「私の決意」の記述の変容

T児は、「はがき新聞」を制作する前の段階で「物や金銭を上手に使うって、上手に暮らす」ためにどのように行動するかを「もっと上手に買う」としました。しかし、教師の働きかけによりT児は、自分の思いを言葉を使って整理し、最終的に「値段に気をつけること」を「私の決意」として表明することができました（資料6、次頁資料8）。

イ 記録に残す評価

7時間目の評価規準④（表現する）については、5、6時間目の身近な物の使い方や買い方について、考えたことを記述した「はがき新聞」の記述内容から評価します（資料8、次頁資料9）。評価は、資料7の判定基準を基に行いました。

	表現
「十分満足できる」状況（A）	課題解決の一連の活動を通して、新たな課題を見付けたり「物や金銭を上手に使って、上手に暮らす」ために自分が今後どのように行動するか、家庭生活を工夫したり環境に配慮した生活の視点を入れたりして、具体的に自分の思いや考えをわかりやすくまとめることができている。
「おおむね満足できる」状況（B）	課題解決の一連の活動を通して、新たな課題を見付けたり「物や金銭を上手に使って、上手に暮らす」ために自分が今後どのように行動したりするかを自分の言葉でまとめることができている。
「努力を要する」状況（C）	「おおむね満足できる」状況（B）に達していない。

資料7 7時間目の判定基準

<思考・判断・表現>④ ※「おおむね満足できる」状況（B）と判断した児童の具体的な例 T児

資料8 「はがき新聞」

T児は、「私の決意」を記述する場面では、「努力を要する」状況（C）でしたが、教師が手立てを行ったことにより、資料8のような「はがき新聞」を制作することができました。

「はがき新聞」においては、「物や金銭を上手に使って、上手に暮らす」ためにどのように行動するかを、課題解決の一連の学習から、「ねだんに気をつけること」を新たな課題としていることが分かります。これは、T児が、自主学習ノートの購入実践で「品質（機能）」や「外観」に気を取られてしまい、「値段」や「マーク（表示）」を見なかったことを問題点としていることから見取ることができます。今後は、買物は時間をかけて商品を選ぶことを自分の言葉でまとめることができているので、これらのことから、「おおむね満足できる」状況（B）と判断しました（資料8）。

<思考・判断・表現>④ ※「十分満足できる」状況（A）と判断した児童の具体的な例 K児

資料9 「はがき新聞」

資料9では、K児は、「物や金銭を上手に使う、上手に暮らす」ためにどのように行動するかを課題解決の一連の学習から、「捨てる前にもっとほかのものに使えないか考える」と記述しています。これは、今までの学習と自分の消費生活を関連させ、「いらなくなったらすぐに捨てる」という行動を問題点として見付けた姿だと捉えました。

また、購入した自学ノートや文房具などをどのように使っていくか具体例を挙げ、自分の生活にとって適切な解決方法を挙げています。これからの家庭生活を工夫し、環境に配慮した生活の視点を入れ、持続可能な社会の構築の点から述べることができおり、さらに、ノート購入の買物に限らず、自分の消費生活全般に視野を広げ、自分の考えを分かりやすくまとめています。以上のことから、K児は、「十分満足できる」状況（A）と判断しました（資料9）。

(5) 【参考資料】「買物名人になって、上手に暮らそう！」3時間分のワークシートについて

ワークシートのどの部分で、問題解決の学習過程①～④における評価を行ったのか、参考資料として示します（資料10～資料13）。

5 / 7 時間 学習日 月 日

めあて
自分の買物を見つめ、自主学習ノートの購入を成功させるための計画を立てよう

★買物名人になるための課題 ★課題を設定した理由

思考・判断・表現 ①課題を設定する

★どのノートを買おうかな？情報を集めよう。 予算 円

家族へのインタビュー 商品(ノート)等の情報

①だれに() ②どんな方法で()
理由まで聞いてこよう。

思考・判断・表現 ②解決方法を考える

★候補をあげよう。

メーカー	サイズや種類	いくらぐらい？	今、考えていることその商品にした理由	どこで買う？

思考・判断・表現 ②解決方法を考える

資料10 5時間目のワークシート

6 / 7 時間 I 学習日 月 日

めあて
上手な買物ができたか、振り返ろう！

★買物名人になるための課題

★自主学習ノートの買物記録

メーカー	サイズ枚数	値段	選んだ理由ノートの持ちよう

どこで買ったか。

思考・判断・表現 ③評価する

○買う時に考えたこと・失敗したこと
○計画通りにいかなかった理由
○後で気付いたこと・思ったこと

思考・判断・表現 ③評価する

○自主学習ノートとして適切か、使ってみた感想

★「買物名人シート」を活用したか。
活用しなかった 活用した

★今回の買物で、課題は、解決できたか。
だめ ・ まあまあ ・ ばっちり！

★あなたの買物満足度 10点

○どうすれば、課題解決が「ばっちり」になったり買物満足度が10点になったりするだろうか。

思考・判断・表現 ③改善する

あなたここにシールをはってもらおう！

資料11 6時間目の「買物記録」ワークシートI

6 / 7 時間 II 「買い物名人だ〜れだ?」

年 組
名 前

友達の自主学習ノートをこう入した話を聞いて、コメントしよう!
そして、誰が上手な買い物をしたか選ぼう!
選ぶ基準は、表の項目にそって判定しよう。
その際、①友達の発表をよく聞くこと
②名人を決める時は、理由をそえて判定することが大事。
買い物名人を判定できるかな?

判定は、1から4の4段階(1がんばれ→4すばらしい)を数字で記入する。	さん	さん	さん
①目的:学習に適したノートか。			
②機能:使いやすそうか。			
③値段:予算内か。高くないか。余分な買い物はないか。			
④大きさや量:大きさや分量はちょうどよいか。			
⑤環境:環境について考えていたか。(マークや表示、ノート・インク原料、過包そう、資源の有効活用など)			
総合判定(◎ ○ △)			

買い物名人は、さんです。
理由は、だからです。

私が、友達の意見を聞いて買い物について考えたことや改善したいこと

思考・判断・表現 ③改善する

「指導に生かす評価」をこの部分の記述内容を基に行います。

7 / 7 時間
★「上手にを使って、上手に暮らすってどういうこと?」
私の決意!

この部分を「はがき新聞」にのせよう!

資料 12 6 時間目の「買い物記録」ワークシート II

7 時間目
めあて:身近な物の使い方や買い方について、考えたことを「はがき新聞」で伝えよう

○今までの学習を通して、「物や金銭を上手にを使って、上手に暮らす」ために、これからのどのような行動をするか、決意を書こう。

思考・判断・表現 ④表現する

おうちの方からのコメント

先生から

資料 13 7 時間目の「はがき新聞」

9 学習評価の進め方 Q & A



Q1 「知識・技能」の評価において、知識と技能に分けて記録をした場合、「知識・技能」の観点に総括してよいのでしょうか。また、「知識」と「技能」に軽重をつけてもよいのでしょうか。

A 学習指導要領において指導内容が知識と技能で分けて示されているような場合は、個別に「知識」、「技能」で記録したものを、「知識・技能」の観点に総括していくという方法が考えられます。

学習指導要領の記載や実際の指導内容により、指導や評価において知識と技能に軽重を付けることは考えられます。しかし、知識又は技能の一方に偏ることなく、年間を通じて知識及び技能をそれぞれバランスよく育成するべきことに留意する必要があります。



Q2 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際に、留意することは何ですか。

A 「主体的に学習に取り組む態度」の中の「家庭での実践に取り組もうとしているか」については、学校での学習を家庭や地域での実践として展開できるように、児童の生活環境に配慮し、家庭と地域との連携を図るようにすること(学級だよりや学級懇談会等の活用、児童会活動における地域の人々との交流活動など)も大切です。





Q3 「思考・判断・表現」において、問題解決の学習過程①～④を評価する際に、どのように総括すればよいでしょうか。

A 様々な方法がありますが、一例を紹介します。

問題解決の学習過程①～④で、それぞれの観点で評価したA、B、Cを3、2、1で数値化します。評価の各観点の合計点について満点の85%以上であればA、84～50%であればB、それ未満であればCとする考え方に立って、総括します。例えば、本事例の題材7時間の学習展開であれば、以下のように総括します。

学習過程① 課題を設定する	学習過程② 解決方法を考える	学習過程③ 評価・改善する	学習過程④ 表現する	合計点
B (2点)	A (3点)	A (3点)	B (2点)	10点

各過程の合計点は、10点です。10点は、満点12点の85%未満なので、この題材における「思考・判断・表現」の評価は、Bとします。



Q4 調理実習時は安全面の指導で精一杯でなかなか評価ができません。何かよい方法はないでしょうか。

A 次のような手立てを講じて調理実習の評価を行うことが考えられます。

① 観察記録用に7.5cm角くらい(手のひらサイズ)の付箋を用意し、評価します。付箋が大きいと、児童が付箋を気にしてのぞいてくるので、うまく記録が取れないことがあります。さっとポケットから取り出せる大きさが便利です。付箋には、下図のように十字に線を入れておき評価したい項目を記入しておきます。活動を見ながら、A評価の児童のイニシャルを記入していきます。

② 細長い付箋を準備し、「包丁の握り方が上手!」「手際がいいね!」等、ちょっとした気付きを声掛けしたり、付箋に書いて渡したりすると児童は喜びます。渡された付箋は、ノートに貼っておくように指示を出し、後日ノートを集めた時に評価の参考とします。また、時間がないときには、3色シール(赤:安全 黄:工夫 青:手際など)を使って児童に渡します。この場合、児童にシールの意味を伝えておきます。

1班 協力 T	活動 T、M
技能 I、T	環境 O

③ 調理はなるべく一人一人が体験できるよう工夫します。「ゆで野菜のサラダ」を作るときに、各自が野菜の一つを選び、ゆで方を調べて個々に調理した野菜を集めてグループで一つのサラダにする方法もあります。このようにすることで、個々の技能を評価することができます。

④ 児童が自分で作った料理と一緒に写真に撮り、記録に残します。



参考資料

- ・文部科学省 『小学校学習指導要領解説家庭編』 平成29年7月
- ・文部科学省 「H29・30年度改訂の学習指導要領下における学習評価に関するQ&A」 令和元年11月
- ・国立教育政策研究所 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校家庭』 令和2年3月
- ・国立教育政策研究所 「学習評価の在り方ハンドブック 小・中学校編」 令和元年6月
- ・岡 陽子・鈴木 明子編著 『平成29年度改訂 小学校教育課程実践講座 家庭』 ぎょうせい 2017年12月
- ・岡 陽子 「小学校 家庭 問題解決のプロセスを踏まえた指導と評価の充実」 『シリーズ学びを変える新しい学習評価 理論・実践編2 各教科等の学びと新しい学習評価』 ぎょうせい 令和2年1月
- ・北原 琢也 「第9章 家庭科[家庭/技術・家庭科(家庭分野)] 『教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価 「見方・考え方」をどう育てるか』 日本標準 2019年3月
- ・鈴木 明子 「特集1 評価基準の作成と活用(2) 小学校家庭(解説と評価事例) 『指導と評価 9月号』 一般社団法人日本図書文化協会／日本教育評価研究会 2020年9月
- ・横山 みどり編著 『教科書+α 絶対楽しい家庭科授業』 東洋館出版社 2019年10月
- ・勝田 映子 『スペシャリスト直伝! 小学校家庭科授業成功の極意』 明治図書 2019年1月
- ・田中 博之 『「主体的・対話的で深い学び」学習評価の手引き』 教育開発研究所 2020年5月
- ・堀 哲夫 『一枚ポートフォリオ評価OPPA』 東洋館出版社 2019年8月
- ・公益財団法人理想教育財団 「はがき新聞をつくろう！」
https://www.riso-ef.or.jp/hagaki_top.html
- ・高知新聞 「作ろう! はがき新聞 (指導者用)」
<https://www.kochinews.co.jp/pdf/article/4ed435ab5dd7e73b8b031502f2e779a4.pdf>